

各 位

会社名 株式会社ひらまつ
代表者名 代表取締役社長兼CEO 遠藤久
(コード番号 2764 東証プライム)
問合せ先 取締役 CFO 北島英樹
(TEL: 03 - 5793 - 8818)

特別損失（減損損失等）の計上及び通期連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2023年3月期第4四半期連結会計期間において、特別損失の計上を行うとともに、2022年5月13日に公表いたしました2023年3月期通期連結業績予想と実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

2023年3月期第4四半期連結会計期間において、減損損失等の特別損失 256百万円を計上することといたしました。

2. 業績に与える影響

上記特別損失は、本日付にて公表の「2023年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映しております。

3. 通期連結業績予想値と実績値との差異

(1) 2023年3月期連結業績予想との差異（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 11,763	百万円 ▲623	百万円 ▲720	百万円 ▲759	円 銭 ▲10.74
実績値 (B)	12,376	▲617	▲612	▲904	▲12.79
増減額 (B-A)	+613	+6	+108	▲144	—
増減率 (%)	+5.2	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	9,221	▲2,108	▲1,574	▲2,469	▲41.72

(2) 差異の理由

当社は、2022年5月13日に公表いたしました「新中期経営計画」（2023年3月期～2025年3月期）に基づき、今後の外食や国内旅行需要の回復を見据えた3つの政策的な投資を実施いたしました。具体的には、お客様へのサービス品質向上を目的とした店舗設備の修繕投資、優秀な人材の確保と育成のための投資、更なる売上拡大を目的としたマーケティングとブランディングへの投資です。これらの取り組みにより、全ての事業において売上が前年同期に比べ大幅に伸長し、連結累計期間売上の過去最高値を更新いたしました。

利益面においては、前述の政策的な投資により一定程度の費用負担が増加したことに加え、コロナ禍における人員不足の影響を受け、繁忙期に向けた採用コスト及び人件費が増加したことや、円

安やエネルギー価格の高騰により、水道光熱費など一部の販売費及び一般管理費も想定以上となりました。

また、政策的な投資を推進する一方で、財務健全化の一環として店舗の閉鎖と店舗の減損損失計上による特別損失を256百万円計上したことにより親会社株主に帰属する当期純利益については、予想を下回る結果となりました。

当連結累計期間における当社グループの業績は、売上高12,376百万円（前年同期比34.2%増）、営業損失617百万円（前年同期は営業損失2,108百万円、前年同期比70.7%損失減）、経常損失612百万円（前年同期は経常損失1,574百万円、前年同期比61.1%損失減）、親会社株主に帰属する当期純損失904百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失2,469百万円、前年同期比63.4%損失減）と大幅な増収を実現することができたことから損失も大幅に減少させることができました。

なお、「新中期経営計画」に対する進捗は、売上高が計画比5.2%増となりその結果、営業損失、経常損失はそれぞれ、計画比1.0%損失減、15.0%損失減と計画を上回っており概ね順調に推移しております。

以 上